☆☆☆　この記事は校内向けのため、非公開です　☆☆☆

あすなろ

熊谷女子高校
図書委員会
第707号
2024年2月19日発行

二月の花は？

みなさんは、二月の花といえば何の花を思い浮かべますか？おそらく、梅と答える人が多いのではないでしょうか。

梅の花言葉は、美と香りとしている姿から、「不屈の精神」「高潔」。食用の梅は体の調子をととのえます。

「花も実もある」という言葉は梅のことを指すといわれています。外観も内面も美しい熊女性にぴったりの言葉ですね！

♥バレンタインの違い？♥

2月といえばバレンタインデー。でも日本のバレンタインはアメリカのバレンタインとちょっとした違いがあります。

日本のバレンタインでは一般的に女性から男性に愛の告白として贈る「本命チョコ」だけでなく、友達や同僚に日頃の感謝の気持ちを込めて贈る「義理チョコ」がありますが、アメリカには「義理チョコ」の文化はありません。

2/27　国際ホッキョクグマの日

この日は、ホッキョクグマの絶滅の危機や彼らが直面している現状をより多くの人に知ってもらうことを目的として制定されました。地球温暖化のため北極圏の海氷は年々小さくなり、そこで暮らしているホッキョクグマでは家や餌を失ってしまっています。私達ができる地球温暖化対策について考えてみてもいかもしれません。

『三四郎』　夏目漱石

明治時代の上京してきた東大生、小川三四郎が、都会の様々な人との交流から得るいろいろな経験や儚い恋愛模様が描かれた、漱石の代表作です。一青年の目を通して、日露戦争後の日本社会を批評し、三四郎は美禰子や野々宮と知りあい、郷里・学問・恋愛の三つの世界を結合させた中で、彼の青年像を描いた小説です。

二月生まれ文豪のおすすめ恋愛小説

自身のドイツへ留学した経験が生かされた小説で、官命によりドイツへ赴任した太田豊太郎と踊り子の少女、エリスの悲恋が描かれています。帰国のときに豊太郎が苦悩を手記に綴る展開となっています。異国的な背景と典雅な文のうた分たの記」なども併収された鷗外の名作集です。

『舞姫・うたかたの記』
森鷗外

去年

金子みすゞ

お舟、みたみた
お正月、元旦、
晴れ立てずに
黒い帆あげて、
ここの巻を出てゆく舟を。

お舟、あの舟、
乗ってるものは、
けさの初日に
追い立てられた、
ふるい去年か、去年かさうか。

お舟、ゆくゆく、
あのゆく先に、
去年のあがる巻があるか、
去年を待って、たあれが居るか
去年、みたみた、
お正月、元旦、
黒い帆かけた
お舟に乗って、
西へ西へと逃げてく島を。